

東海北陸旅客船協会と ▲▽政官学労使懇談会▽▲開催 名古屋支部

9月19日、名古屋港ポートビル会議室で「第19回東海北陸旅客船協会との政官学労使懇談会」を開催した

◇あいさつ

□山原始名古屋支部長

「4年ぶりの開催となるが、人材の確保・育成につながる懇談会としたい」

□渡邊勝吉東海北陸旅客船協会会長

「知床遊覧船の痛ましい事故から、一年以上が経過した。旅客の命を預かるという、重要な業務に就くわれわれには、あらためて安全管理の徹底が必要。

そのためには人材育成につき、インターンシップなどを通じ、教育機関と生徒の考えを含めて対策していくことが重要である」。協調した活動を進めたい。

□組合代表 平岡英彦中央執行委員

「国土交通省は、知床遊覧船の事故発生から直ちに事故対策検討委員会を立ち上げ、旅客船の総合的な安全・安心対策を取りまとめた。本組合は、徹底した指導を要望するものである。また本懇談会では、教育機関と連帯した優秀な人材の招致、労働環境の改善について、忌憚ない意見交換を行いたい」とあいさつ。中塚勝弘中部運輸局海事振興部長は「知床遊覧船事故の最終報告では、日本小型船舶検査機構（JCI）や北海道運輸局の問題点が指摘された。再発防止策の確実な実施や巡視を徹底し、安全・安心な海上公共交通を守っていきたい」。

◇意見交換

認識の共有を図り、今後も協調して取り組んでいくことを確認し、懇談会を終了した。

▽若年者や、他地区から就職した者への、自社寮や住宅補助の設定

▽水産高校の寮設備と下宿

▽他県から水産高校への入校対応

▽少子化に伴う地元中学校卒業生数の減少と水産高校の定員

▽卒業生の自己退職後の進路対策

▽小・中学生に限らない、教員への体験乗船や海事振興の必要性

出席者			41人	
内 訳	8社	東海北陸旅客船協会加盟	21	
	4学校	鳥羽商船高等専門学校	4	
		国立清水海上技術短期大学校		
		三重県立水産高等学校		
		愛知県立三谷水産高等学校		
	政	加藤一登	政治参与 名古屋市議員	1
		村本豊	いとう渉衆議院議員の秘書	1
官	中部運輸局		2	
組合	執行部・職場委員		12	